

新しいビール大麦奨励品種「はるさやか」

品種の特性 (表1)

- オオムギ縮萎病 I～V型に抵抗性がある(しゅんれいはⅢに羅病性)。
- 「しゅんれい」と比較して出穂期は6日、成熟期は3日早い。
- 穂数は並だが、容積重が大きく粒張りに優れ千粒重が大きく多収である。
- 品質はしゅんれいと同等である。
- タンパク質含有率は1%程度低いが、ビール麦の基準値内である。
- 2020年にビール会社の契約対象品種となる「指定品種」に採用されている。
- 実需の麦茶加工適性評価は並で、実需の評価は問題なかった。

表1. 「はるさやか」の特性概要 (2015-2022年産 (2018-2019年産を除く))

形質	品種名	はるさやか	しゅんれい
オオムギ縮萎病抵抗性		I～V	I, II, IV, V
出穂期	(月・日)	3.29	4.04
成熟期	(月・日)	5.19	5.22
稈長	(cm)	78	79
穂長	(cm)	5.1	5.0
穂数	(本/m ²)	1019	1013
倒伏の多少	(0-5)	0.6	0.9
赤かび病	(0-5)	0.0	0.0
収量	(kg/a)	36.5	32.4
比率	(%)	113	100
容積重	(g/l)	709	694
千粒重	(g)	45.7	44.5
原麦粗蛋白含量	(%)	9.6	10.2
外観品質	(1-6)	4.4	3.8
検査等級	(1-6)	2等～等外上	2等～等外上



図1 「はるさやか」の穂標本

注1) 調査場所: 鳥取市橋本 農業試験場

2) 施肥(窒素量kg/10a): 10.0-3.2-2.4(基肥-穂肥I-穂肥II)

3) オオムギ縮萎病の抵抗性は育成地情報

4) 倒伏程度・赤かび病: 0-無、1-微、2-少、3-中、4-多、5-甚

5) 収量・容積重・千粒重は粒厚2.5mm以上

6) 原麦粗蛋白質含量: ビール麦の基準値9.0～12.0%(目標値10～11%)

7) 外観品質: 1-上上、2-上下、3-中上、4-中中、5-中下、6-下

8) 検査等級: 1～3-ビール1等～等外上、4～5-大粒大麦1～2等、6-規格外

利用上の留意点

- 本県における普及対象地帯は県下全域とする。
- 育成地情報によると、「はるさやか」の交配組み合わせは(母)「はるしづく」×(父)「筑系9713」であり、2023年2月現在は福岡県で奨励品種に採用されている。

(問い合わせ先) 鳥取県農業試験場 作物研究室 TEL: 0857-53-0721